

## 型試合規約（国際空手道連盟ルール・第12回全日本選抜大会用）

1. 審判基準 審判員および審議委員は同等の権限をもって競技の審査に当たるが、競技に関する最終決定はすべて審判長の裁可による。旗判定は3名以上の審判員がどちらか一方の旗を掲げて行う。引分は無い。審判員はそれぞれに意義を申し立て協議する権利を有する。

2. 試合の区分 個人戦と団体戦(3人制・2人制)を設ける。

3. 階級・型 第12回全日本大会の演武型は、全日本大会規約を参照すること。学年が変わるため、本大会の型とは異なる場合があります  
団体戦とDUOは、2020年10月3日時点の年齢を基準にチームを編成すること

選抜階級	初級・型	上級（全日本選抜）・型
幼年(男女混合) ※選抜対象は年長のみ	① 太極Ⅰ	A 太極Ⅰ
小1(男女混合)	② 太極Ⅰ	B 太極Ⅲ
小2(男女混合)	③ 太極Ⅰ	C 太極Ⅲ
小3(男女混合)	④ 太極Ⅲ	D 安三
小4(男女別)	⑤ 太極Ⅲ	E 安三
小5(男女別)	⑥ 太極Ⅲ	F 安三
小6～中2(男子)	⑦ 平安Ⅰ	G 最破
小6～中2(女子)	⑧ 平安Ⅰ	H 最破
中3～一般・シニア(男女混合)	⑨ 平安Ⅰ	
シニア男子(2020/10/3時点・50歳以上)		I 征遠鎮
シニア女子(2020/10/3時点・48歳以上)		J 征遠鎮
マスター男子(2020/10/3時点・38歳～49歳)		K 征遠鎮
マスター女子(2020/10/3時点・35歳～47歳)		L 征遠鎮
一般男子(2020/10/3時点・高校生～37歳)		M 突きの型
一般女子(2020/10/3時点・高校生～34歳)		N 撃砕大
団体戦小学生(3名) *2名以内幼年含む編成可		T-1 平安Ⅲ
団体戦中学生(3名) *2名以内小学生含む編成可		T-2 撃砕小
団体戦一般(3名) *2名以内中学生以下含む編成可		T-3 突きの型
DUO小学生(2名) *1名幼年含む編成可		D-1 平安Ⅱ
DUO中学生(2名) *1名小学生含む編成可		D-2 平安Ⅴ
DUO一般(2名) *1名中学生以下含む編成可		D-3 征遠鎮

### 4. 試合の方法

【個人戦】 各階級指定型を単独で行う。2-3名の審判員が採点を行う。同点の場合は、再試合により決着する。

【団体戦・DUO】 ①ア)団体戦は、各階級予選型をチーム全員が同時に行う。開始と終了が同時である事以外は自由とし、開始位置、方向は定めないが、試合場(8x8m)内で行うものとする。鳴り物、音楽の使用を禁ずる。  
イ)DUOは、各階級予選型を二人が、開始位置で正面へ向かい横に並び、同時に開始する。他は団体戦と同じとする。

②2-3名の審判員が採点を行う。同点の場合は、再試合により決着する。

5. 着衣 選手は清潔な空手着を着用しゼッケンがある場合は背中中央に貼り付けること。袖、裾の折り返しを禁ずる。  
6. 評価基準 技術点と演技構成点により、評価を行う。

技術点(50点満点)		演技構成点(50点満点)
基礎点(25点満点)	技術点(25点満点)	
体軸のぶれ(バランス)	極め技(重心の安定x加速度)	呼吸の出し入れ(気の吸収/充満/解放力)
予備動作(モーショ)	軌道・止め(気合)	表現力・芸術性(動作の線・止めの気迫)
	目線	(団体戦・DUO) 上記 + 協調性(*)・創造性・オリジナリティ

\*団体戦・DUOにおける協調性とは、メンバーの動きが一条乱れず(団体戦は、演出上、異なる動作を行うことが可能だが、チーム全体の動きが規定型と見て取れるものでなければならない。)、移動、突き・蹴りのスピード・高さが同一であることが求められる。但し、一般と小学生の組み合わせ等、著しく身長差がある場合、突き・蹴りの軌道(角度)をみるものとする。

7. 失格 ①審判員の指示に従わず、悪質な試合態度とみなされたとき。判定時の「雄叫び」「ガッツポーズ」等礼節を欠いた態度を取った場合失格となります。

②出場時刻に遅れたり、出場しないとき。

③申告した型と異なる型を演技したとき。演技を途中で中断したとき。

8. その他 ①道場・流派・会派による細部動作等の相違や気合の箇所の相違は評価基準の対象としません。

②判定に対する抗議は一切認めません。